

東京都COVID19感染症透析医療入院病床アンケート (第2報)

東京都区部災害時透析医療ネットワーク	代表	酒井 謙
三多摩腎疾患治療医会	理事長	菊地 勘
東京都透析医会	災害対策委員長	要 伸也
	会長	尾田高志
	災害対策委員長	安藤亮一
		花房規男

①アンケート集計時点（区部4月上旬、多摩地区5月上旬）でのCOVID-19入院受け入れ可能施設は、**92 (+3)施設中36 (+8) 施設（40.4%）**
受け入れ可能病床：のべ**48 (+22)床**

②東京都からの要請があれば、現時点で受け入れ不可能施設の **15 (-4) 施設**が入院受け入れ可能と表明
受け入れ可能病床：のべ**23 (-9)床**

* ①+②=**71(+13)床**が、最終的に東京都の潜在的なCOVID-19透析患者入院可能病床数と推測される。

③区部外来受け入れ可能は、**82施設中 32施設（37%）**
受け入れ可能外来透析ベッド：のべ**33床（1施設1床の割合）**

* 自施設・関連施設の患者発生は自施設で対応可能、外部からの受け入れが可能は、入院施設で**15%**、外来施設で**1%**にとどまる。

* カッコ内は第1報との差異